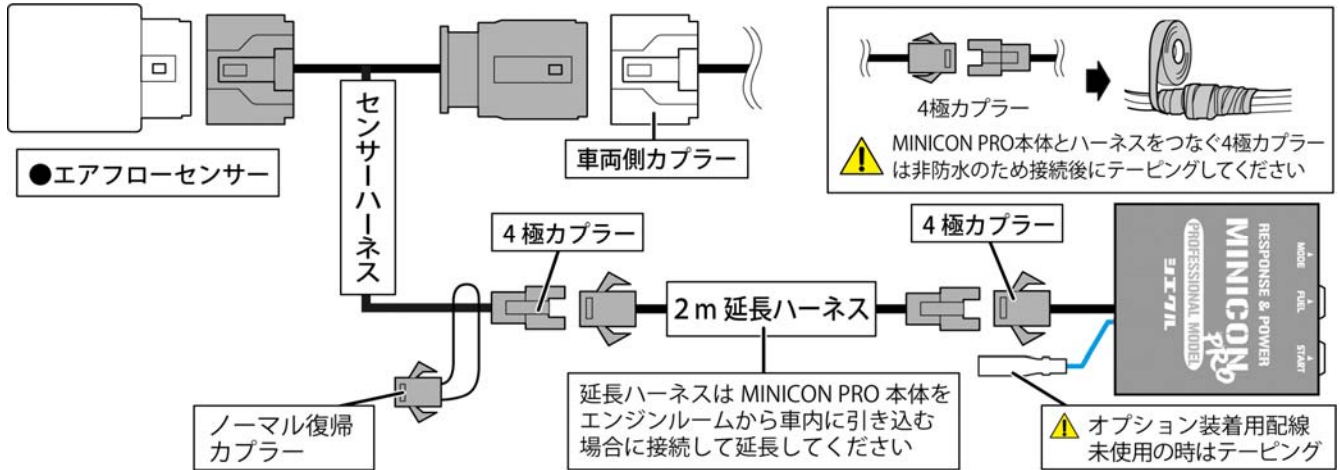


●取り付け方法

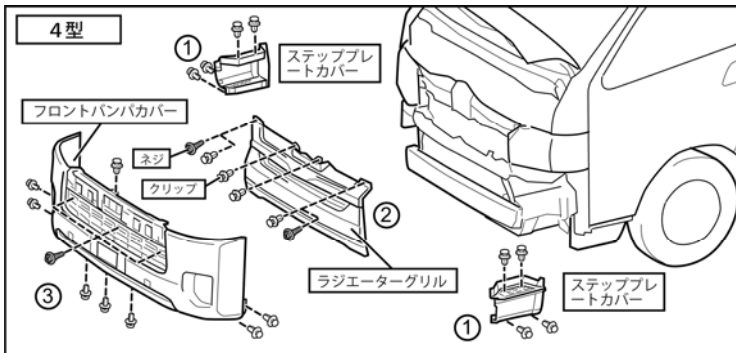
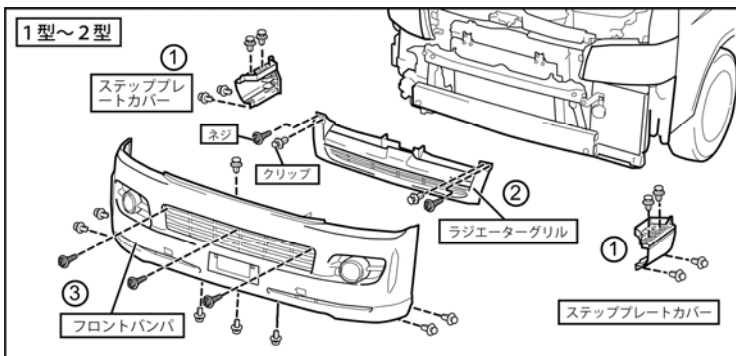
注意 ●エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから10分以上たってから作業をおこなってください。
 ※車両のECU電源が完全にOFFになる前に作業をおこなってしまった場合エンジンチェックが点灯してしまいます。

1.配線図



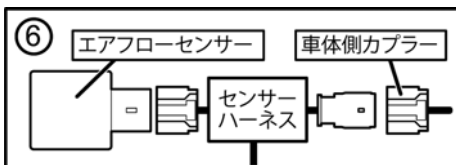
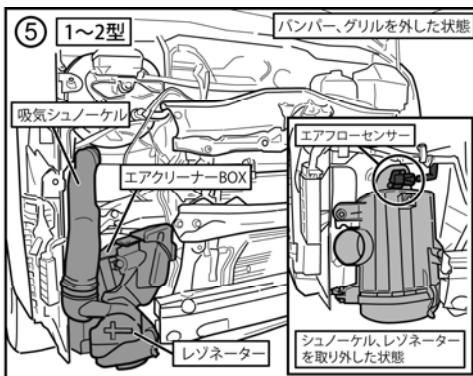
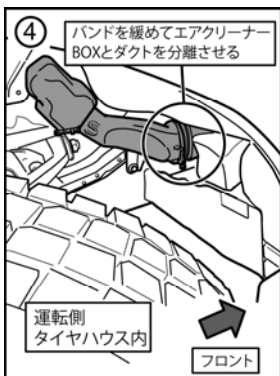
2.センサーハーネスの取り付け

エアクリナーBOXは右タイヤ近辺にあります。下記手順を参考にフロントバンパーを脱着してから作業をおこなってください。
 ※3型、5型は下記の説明書を参考に自己判断にて作業をおこなってください。



- 1.左右のステッププレートカバーを脱着して下さい。
- 2.ラジエーターグリルを脱着して下さい。
- 3.フロントバンパーを脱着して下さい。
- 4.エアクリナーBOXのエンジン側ダクトを固定しているバンドを緩めて下さい。
- 5.エアクリナーBOXを固定しているネジをはずし、車体からはずして下さい。
 ○必要に応じてヘッドライトも取り外して下さい。
 ○取り付け後、各部品の装着は上記手順の逆の手順にておこなってください。
 ○はずしたネジ・クリップは紛失しないように慎重に作業をおこなってください。

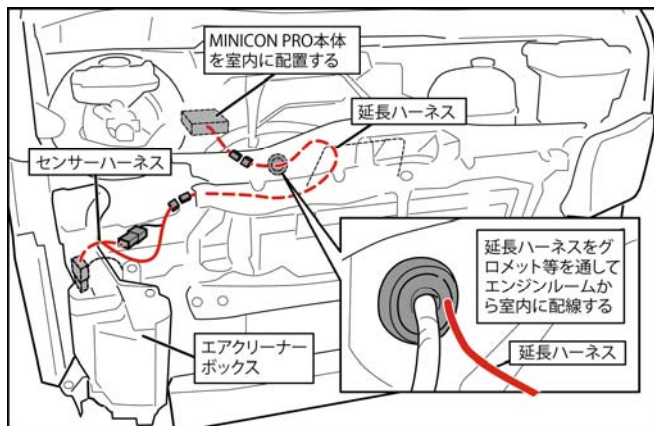
- 1.左右のステッププレートカバーを脱着して下さい。
- 2.ラジエーターグリルを脱着して下さい。
- 3.フロントバンパーカバーを脱着して下さい。
- 4.エアクリナーBOXのエンジン側ダクトを固定しているバンドを緩めて下さい。
- 5.エアクリナーBOXを固定しているネジをはずし、車体から完全にはずして下さい。
 ○必要に応じてヘッドライトも取り外して下さい。
 ○取り付け後、各部品の装着は上記手順の逆の手順にておこなってください。
 ○はずしたネジ・クリップは紛失しないように慎重に作業をおこなってください。



- 6.エアフローメーターのコネクタを抜き、MINICONセンサーハーネスを割り込み接続して下さい。

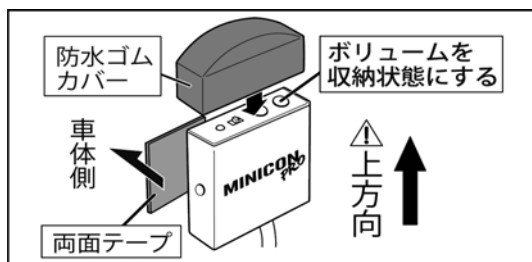
3.本体の装着・固定

3-1.MINICON PRO本体を室内に設置する場合



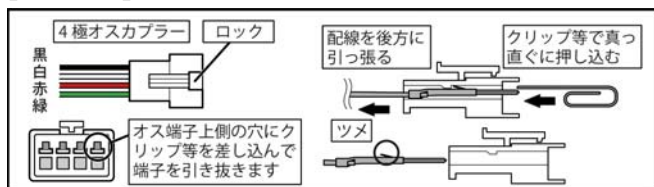
- 1.延長ハーネスを使用してグローメット等から車内に延長ハーネスを引き込んで下さい。
※2mの延長ハーネスで長さが不足する場合は、別売の延長ハーネスを連結して使用して下さい。
※配線を引き込む際に4極カプラーを外す場合は下記【参考資料】を参照して下さい。
- 2.MINICON PRO本体、延長ハーネス、センサーカプラーを接続して4極カプラーをテーピングして下さい。
- 3.MINICON PRO本体を両面テープで車体に固定して下さい。
※本体及びハーネスは運転の妨げにならないよう取り付けして下さい。

3-2.MINICON PRO本体をエンジンルーム内に設置する場合



- 1.MINICON PRO、センサーカプラーを接続して4極カプラーをテーピングして下さい。
- 2.MINICON PROは防水処理されていません本体に防水ゴムカバーを被せて水や熱の影響を受けない場所に両面テープで固定して下さい。
※配線がファンベルト等に干渉しない場所。点火、インジェクター、アンプ、HID等のノイズが発生する配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
※ポリウムを収納状態にしてゴムカバーを被せて下さい。
- 3.MINICON本体より出ている青線はオプション装着用ハーネスです。使用しない場合はテーピングして下さい。

【参考資料】4極オスカプラーの外し方



- 端子をカプラーに戻すときは配線配置に注意してください間違えると破損の恐れがあります。
- カプラーを抜いた端子状態でグローネットなどを通す場合は端子が破損しないようテープ等で保護して下さい。

●設定方法

1.初期設定



- 走行中のポリウム操作は大変危険です。ポリウム調整は必ず車両停止時におこなって下さい。
- セッティングが合っていない状態で走行した場合、ノッキング等が発生し、そのまま走行を続けた場合にはエンジン破損の危険がありますので調整は十分慎重におこなって下さい。
- エンジン破損等に関しては、弊社は一切責任を負いかねます。調整は自己責任にて慎重におこなって下さい。

下表を参考に初期設定をおこなって下さい。

※設定値は未改造車両での一般的な値です。車種、車両状態によってはマッチしない場合があります。その場合は走行テスト後に【3.セッティング】[4.セッティング 改造車]に進んでください。

エアフローセンサー車(品番:MCP-A〇〇〇)	スタートポリウム	フューエルポリウム	モードスイッチ
弊社レスポンスブレード未装着車(ターボ/NA共通)	6	-2	1
弊社レスポンスブレード装着車(ターボ/NA共通)	6	-2	3

スタートポリウム フューエルポリウム

- 1.各ポリウムスイッチを押し込んで操作状態にしてください。
- 2.初期設定の数値に従ってスタート、フューエルポリウムを左図の黒字の数字の位置に合わせて下さい。
※左図の数字は設定用の目安で製品には表記されていません。
- 3.設定終了後に再度ポリウムを押し込み収納して下さい。

スイッチをスライドさせて初期設定のモードに合わせて下さい。

モードスイッチ

2.動作確認

1.下表を参考にイグニッションON、アイドリング中、アクセルを踏んだときにアクティブポイントが点灯するか確認して下さい。

イグニッションON	アイドリング中	アクセルを踏む
LED消灯	LED消灯	LED点灯

※アイドリング中に点灯する場合は【3.セッティング】[スタートポリウムの設定]を参照して調整して下さい。

2.スムーズに吹け上がるか？確認して下さい。

※異常がある場合はエンジンチェックが点灯します。エンジンを停止させ、【トラブルチェック】を参考に再度接続をして下さい。



3.セッティング

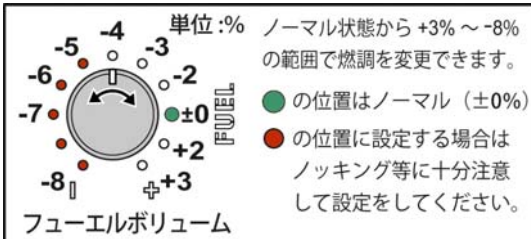
実走行をして初期設定が合わない場合は下記を参考にしてスタートボリューム、フューエルボリュームのベストな値を出して下さい。吸排気を改造している車両での設定については下記【4.セッティング 改造車】も参考に設定値を出して下さい。

1.スタートボリュームの設定



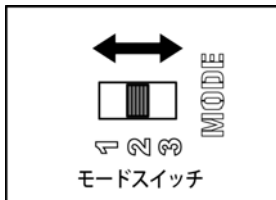
- 低中速域のフィーリングがよくなるようにスタートボリュームの調整をおこなって下さい。
- アイドリング中にアクティブポイントが点灯している場合はLEDが消えるまでスタートボリュームを右側に回して下さい。
※エアコンON、シフトをドライブに入れた時のアイドリング中も含む。
※アイドリングで燃調の制御をするとアイドリング不調の原因になります。

2.フューエルボリュームの設定



- 緑色の点が±0%です。この位置より右に回すと燃量値がプラスに左に回すとマイナスに変化します。
※アクティブポイントが消灯している時は±0%の制御をおこなって点灯している時のみ制御がおこなわれます。
- 初期設定よりベストなフィーリングに調整をおこなって下さい。
※ハーファクセルから回転を徐々に上げた時のフィーリングを目安にするとうわりやすいと思います。
- マイナス側の点が赤色なるところよりマイナス調整をおこなう場合は、減量幅が大きくなる為ノッキング等に十分注意して調整をおこなって下さい。

3.モードスイッチ について



- モードスイッチ【1】は高負荷時に燃量値が±0%になります。フューエルボリュームをマイナス側で調整し高負荷時にわずかなノッキング等が生じる場合等に有効です。
- モードスイッチ【3】は高負荷時に燃量値がフューエルボリュームの設定値よりさらに薄くなります。
- 各モードの詳細 ※通常は【初期設定】のモードで使用して下さい。

モード1	高負荷時にノーマル制御(±0%)に戻ります
モード2	高負荷時もフューエルボリュームで設定した値を維持します
モード3	エアフロセンサー車で弊社レスポンスブレードを装備した場合に有効なモード

4.セッティング 改造車

車両の吸排気等改造している場合は下記を参考にして設定を行って下さい。

1.インテーク改造、社外マフラー装着、フルコン装着車両のセッティング(参考)

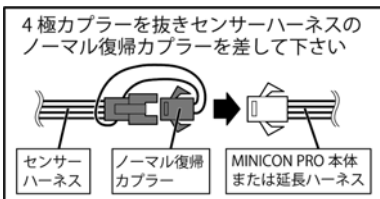
- コアタイプクリーナー装着車、社外インテークパイプ装着車
低中速域での空気の流速が出ていない車両が多くみられます。一般的にフューエルボリュームをプラス方向にしたセッティングが合う場合が多く見られます。
- 社外マフラー(車検対応)装着車
車検対応マフラー装着車の場合、基準設定より±2程度の範囲を目安として調整をおこなって下さい。
- フルコン装着車
季節、走行状態による個体差を本製品で調整することにより、よりベストなセッティングを望めますが 調整は本製品の機能を十分に理解した上でおこなって下さい。

●トラブルチェック



走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止してしばらくしてからノーマル状態にして再始動させて下さい。

本製品使用時にエンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は下記の要領にてノーマル状態へ戻して下さい。



- 1.MINICON PROとセンサーハーネスを接続してる4極カプラーを抜き、センサーハーネス側にあるノーマル復帰カプラーを差して下さい。
※ノーマル復帰カプラーを差しないとセンサー信号が途絶えてチェックランプが点灯します。
- 2.ノーマル復帰カプラーでノーマル復帰しても症状が治らない場合はセンサーハーネスをエアフロ/圧力センサーから抜いて車両側のカプラーを戻して完全なノーマル状態に戻して下さい。
- 3.完全にノーマル状態にしても直らない場合は本製品と関係のない原因が考えられます。

【アイドリング不調】

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

【エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない】

- ハーネスの挿入方向を再確認して下さい。
- エンジン停止後すぐに車両カプラーを抜いてしまった場合。※エンジン停止後しばらくは車両ECU、センサーは動作しているため

【点灯したチェックランプを消す方法】

- 正常な状態で【エンジン始動】⇄【1分間エンジン停止】を3~5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断しエンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

【メーターの数値がずれる】

- OBD等より信号を取り出しているメーターは車体センサーの数値を利用しているためMINICONの制御の関係で表示のずれが生じます。



センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合新品と交換する事を推奨いたします。